

第1回 定例研修会

日時：平成31年4月14日(日)
場所：ステーションコンファレンス東京
講師：湯浅 慶一郎先生、岩野 義弘先生、中原 達郎先生



百瀬 康仁 (東京都)



平成31年4月14日、ステーションコンファレンス東京にて、平成としては最後の定例研修会である平成31年度第一回定例研修会が行われました。

田中会長の開会の挨拶から始まり、続いてセレクトドクターのシンポジウムは「Save the Teeth!」をテーマに、座長の関 啓介先生より趣旨の説明をして頂きました。1人目の演者として湯浅 慶一郎先生は「根分岐部病変への対応 ～切除療法or再生療法～」というタイトルで大白歯の解剖や歯周外科の術式について講演して頂きました。2人目の演者として岩野 義弘先生は「歯周組織再生療法による歯の保存 ～抜歯を選択するその前に～」というタイトルで垂直性骨吸収に対する再生療法、特にリグロスについて講演して頂きました。3人目の演者として中原 達郎先生は「歯を残したその後で ～歯周補綴を選ぶ理由～」というタイトルでクロスアーチブリッジの有用性について講演して頂きました。

シンポジウムでは活発なディスカッションが行わ

れました。

シンポジウム後、梅津 正喜先生が「血餅療法」というタイトルで会員発表されました。

また、今回は株式会社GC協賛のランチョンセミナー『国内初の「インプラント適用」が認められた骨補填材サイトランスグラニュール』を行いました。今回ランチョンセミナーを受講するとことによりe-ラーニングを受けなくてもすぐに購入できることになりました。

午後からは特別講演として二階堂 雅彦先生の「ペリオの視点から見たインプラントの光と影」というタイトルでご講演頂きました。はじめに新しい歯周病の分類について解説して頂きました。歯周治療の重要性を踏まえ、インプラント治療のティッシュマネージメントやインプラント周囲炎の治療について私見とエビデンスを交えて講演して頂きました。

今回も非常に勉強になりました。

定例研修会後の懇親会には二階堂先生もご参加いただき大変盛り上がりしました。